

令和6年度第3回大竹市地域公共交通活性化協議会 記 録 票

日 時 : 令和6年12月5日(木) 14時00分～
場 所 : 大竹市役所 3階大会議室
出席委員 : 別紙 委員名簿のとおり

事務局長挨拶

1 開 会

会長あいさつ

3 報 告 (※会の進行上、先に報告第1号について、報告を行った。)

(1) 報告第1号：道路運送法等に基づく協議が整っていることの証明書について

○【事務局】 報告第1号により報告。

令和6年12月5日開催の令和6年度第1回大竹市地域公共交通活性化協議会運賃協議ワーキンググループにおいて、別紙のとおり協議が調ったことを報告するもの。

○質疑等 : なし

2 協 議

(1) 議案第1号：湯舟のりあいタクシーの名称及び実施区域の変更について (案)

○【事務局】 議案第1号により説明。

住民組織の名称を「湯舟のりあいタクシー」から「湯舟・玖波4丁目のりあいタクシー」に変更し、デマンド型乗合タクシーの実施区域を「湯舟町」から「湯舟町と玖波4丁目」に変更することについて、承認を求めるもの。

○質疑等 : 【委 員】 これまで湯舟エリアで運行していたものに、玖波4丁目のエリアが追加されるという認識でよいか。

【事務局】 その通りである。

○その他質疑等 : なし⇒ 承認

(2) 議案第2号：デマンド型乗合タクシーの運用見直し (案) について

○【事務局】 議案第2号及び資料1、資料2により説明。

本市において高齢化が進む中、デマンド型乗合タクシー実施区域の住民組織から運行日や目的地を増やしてほしい等の要望を多数受けるようになったことを受け、現在のデマンド型乗合タクシーの運用内容の見直しを行うことについて、承認を求めるもの。

○質疑等 : 【委 員】 大竹交通は祝日は運行するとの認識でよいか。

【事務局】 その通りである。

【会 長】 すでに、住民組織で協議を行い、話を詰めている。すべての要望を聞くのは難しいが、高齢者が増えている中、柔軟に対応していくことが大事である。

【委 員】 経緯に関して、近年運転免許の自主返納は減少傾向にある。今回の見直しで便利になり、返納が促進されると良い。

【事務局】 平成20年から23年では10人程度だったが、平成24年には

30人、平成26年には50人を超えている。平成30年には100人を超えた。令和に入ってから120人程度となっているが、令和3年から5年にかけては徐々に減っている。ただ、長いスパンでみて運転免許返納者数が増えているといえる。

【会長】免許を返納された方について、何かないのだろうか。考えておかなければならないと思う。

○その他質疑等 : なし⇒ 承認

(3) 議案第3号：大竹市地域公共交通計画の骨子（案）について

○【事務局】議案第3号及び資料3、資料4、資料5、資料6、資料7により説明。
本年度、計画期間を令和7年度から令和11年度までの5年間とする「大竹市地域公共交通計画」を策定することとしており、この計画骨子（案）について、承認を求めるもの。

○質疑等 : 【委員】運行事業者の人手不足を課題にあげられている。乗合タクシーの運行など、運行事業者の協力は不可欠である。具体的に検討していただきたい。

【事務局】運行事業者における運転士の担い手不足について、市でどういった支援ができるか、検討していきたい。

【委員】アンケート結果を踏まえた不満に対する改善について、すぐに解決できる話ではないと思うが、何か対応策等があればお聞かせいただきたい。アンケート結果については活かさないといけない。

【事務局】集計結果を分析して、特に不満をなくす方法について考えていきたい。

【会長】こいこいバスの調査結果をみると乗務員の満足度が高く、運行事業者の努力のおかげと考える。

【事務局】本会議で諮ったデマンド型乗合タクシー制度の見直しでも、満足度の改善が期待できると考えている。

○その他質疑等 : なし⇒ 承認

3 報告

※会の進行上、協議の前に、報告第1号について、報告を行った。

(2) 報告第2号：こいこいバス車両更新について

○【事務局】報告第2号により報告。
平成24年3月に整備した小型ノンステップバス（こいこいバス）2台が老朽化しているため、車両の更新について報告するもの。

○質疑等 : 【会長】いつから導入するのか。

【事務局】令和8年2月1日からの運行を目指している。

【会長】安全対策に関する装備は最新のものである。気を付けて運行していただきたい。

(3) 報告第3号：こいこいバスへのバスICOCAシステムの導入について

○【事務局】報告第3号により報告。
令和7年度に更新を予定しているこいこいバス2台に「バスICOCAシステム（簡易型）」を導入することについて報告するもの。

- 質疑等：【会長】新型車両と同時に導入するのか。
【事務局】その通りである。

4 その他

- 【事務局】小方橋架け替え工事に伴う通行止めが来年4月中旬から2年間の予定である。これを踏まえ、こいこいバスのルート、ダイヤを検討中であり、今後、活性化協議会で諮る予定である。
- 【委員】大竹・栗谷線の利用者が減っていく中、昨年度、大竹・栗谷線の車両を変更し、燃料費の節約につながった。どうやって地域住民の要望に応じていくかが課題である。また、昨年、大竹・栗谷線バスのルート見直しについて提案した。
現在、JR大竹駅からJR広島駅までは680円であるが、大三郎口から大竹駅までは780円となっており、運賃が高いから利用者が増えない。今回のデマンド型乗合タクシーでは500円となっている。運賃を値下げすることで利用が増えると考えている。地域住民の役に立つことであり、検討をお願いしたい。
- 【会長】下瀬美術館も外国人の来館者が多くなっている。今後も、皆さんと協議してよりよい方向に進めればと考えている。

5 閉会